

鹿嶋市建設工事総合評価落札方式試行要領

平成20年2月28日

告示第5号

(趣旨)

第1条 この要領は、市が発注する建設工事において、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）の規定により、価格その他の条件が市にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札者とする方式（以下「総合評価落札方式」という。）に関し、鹿嶋市財務規則（昭和60年規則第6号。以下「財務規則」という。）及び鹿嶋市建設工事競争入札実施規則（平成13年規則第11号。以下「入札実施規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(総合評価落札方式の型式)

第2条 総合評価落札方式の型式は、次のとおりとする。

- (1) 標準型 施工計画・技術提案等を求める方式
- (2) 簡易型 施工計画等を求める方式
- (3) 特別簡易型 施工計画等を求めない方式

(対象工事)

第3条 総合評価落札方式を適用することができる工事は、次の各号のいずれかに該当する工事の中から選定するものとする。

- (1) 公共工事の品質を確保するため、企業の評価と入札価格を総合的に評価することが妥当と認められる工事
- (2) その他必要と認める工事

2 前項の規定により総合評価落札方式を適用する工事は、鹿嶋市入札参加者資格審査会（以下「審査会」という。）及び鹿嶋市請負業者指名選考委員会（以下「選考委員会」という。）の審議を経て選定するものとする。

(総合評価落札方式による評価の方法)

第4条 総合評価落札方式による評価の方法は、次によるものとする。

総合評価点＝価格以外の評価点÷価格点（小数点第5位未満切り捨て）

- ・ 価格点＝（入札価格÷予定価格）×100（小数点第3位未満切り捨て）
- ・ 価格以外の評価点＝価格以外の評価の基準点＋評価取得点
- ・ 価格以外の評価の基準点は、100点とする。

(学識経験を有する者の意見聴取)

第5条 総合評価落札方式の実施に当たり、落札者決定基準を定めようとするときは、施行令第167条の10の2第4項の規定により、あらかじめ2人以上の学識経験を有する者（以下「学識経験者」という。）の意見を聴かなければならない。

2 前項の規定による意見の聴取において、併せて、当該落札者決定基準に基づいて落札者を決定しようとするときに改めて意見を聞く必要があるかどうかについて

意見を聞くものとし、改めて意見を聞く必要があるとの意見が述べられた場合は、当該落札者を決定しようとするときに、あらかじめ学識経験者の意見を聞かなければならない。

(評価資料の提出)

第6条 総合評価落札方式による発注を行おうとする場合、入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）から価格以外の評価に必要な資料（以下「評価資料」という。）として、基礎評価を提出させるものとする。

2 前項の評価資料は、次の各号の区分により提出を求めるものとする。

(1) 一般競争入札の場合

審査会において総合評価落札方式の適用を審議した上で、入札公告で評価資料の提出を求めるものとする。

(2) 指名競争入札の場合

選考委員会において総合評価落札方式の適用を審議した上で、指名通知時に評価資料の提出を求めるものとする。

3 評価資料の作成及び提出に要する費用は、入札参加者の負担とする。

(入札公告等に明示する事項)

第7条 入札公告又は指名通知には、提出を求める評価資料の内容及び提出期限等のほか、次の各号に関する事項を明示するものとする。

(1) 当該工事が総合評価落札方式の対象工事であること及び方式の型式

(2) 総合評価の方法及び落札者の決定基準

(3) その他必要と認める事項

(評価項目及び評価基準)

第8条 評価項目及び評価基準は、別紙の特別簡易型評価基準表によるものとする。

2 第2条第1号の標準型及び同条第2号の簡易型の評価基準表は、別に定めるものとする。

(落札者決定の方法)

第9条 落札者の決定方法は、次の要件に該当する入札参加者のうち、総合評価点の最も高い者を落札者とするものとする。

(1) 入札価格が予定価格以下であり、かつ、最低制限価格以上であること。

(2) 入札参加の資格がある者又は入札書が無効でない者であること。

(3) 総合評価落札方式に関して提出した資料等に、虚偽記載が認められない者であること。

(4) その他、入札公告及び入札通知の要件を満たし、法令等の違反がない者であること。

2 入札の執行時又は入札の開札時においては、落札者の決定は保留とし、第6条第2項の各号の区分により審査会又は選考委員会が決定審議を行う。

3 総合評価点の最も高い者が2名以上あるときは、入札執行担当者が指定する日時

及び場所において、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。

- 4 前項の場合において、当該入札をした者のうち、くじを引かないものがあるときは、これにかわって入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

(最低制限価格設定の適用)

第10条 総合評価落札方式の入札において、最低制限価格を設ける場合は、鹿嶋市建設工事の最低制限価格決定等に係る事務処理試行要領（平成20年告示第30号）に基づき処理する。

(各様式の適用)

第11条 総合評価落札方式の実施に伴う様式は、財務規則及び入札実施規則（以下「規則等」という。）にかかわらず、次のとおりとする。

- (1) 別記様式1 一般競争入札参加資格確認申請書兼総合評価落札方式（特別簡易型）競争入札（一般・指名）共通の評価資料提出書
- (2) 別記様式2 同種工事の施工実績表
- (3) 別記様式3 配置予定技術者等の施工経歴及び資格
- (4) 別記様式4 災害協定等による活動実績調書
- (5) 別記様式5 総合評価落札方式に関する評価調書

- 2 その他入札執行に伴う準備から完了までは、規則等に規定する様式を使用する。ただし、必要がある場合は、修正して使用するものとする。

- 3 第2条の第1号の標準型及び第2号の簡易型の別記様式は別に定めるものとする。
(評価結果等の公表)

第12条 契約の相手が決定したときは、評価資料等の評価の結果、入札価格及び総合評価点について、閲覧、掲示及び市ホームページ掲載等により公表するものとする。

(苦情申立て等)

第13条 入札参加者で落札者とならなかった者は、落札者の決定を行った日から起算して7日以内に発注機関の長に対し、落札者とならなかった理由について書面により申し立てることができるものとする。

- 2 前項の申立てがあった場合は、申立ての最終日の翌日から起算して7日以内に書面により回答するものとする。

(その他)

第14条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この告示は、平成20年2月28日から施行する。

附 則 （平成22年10月20日告示第149号）

この告示は、平成22年12月1日以降に公告又は指名の通知を行う建設工事から適用する。

別紙(8条関係) 特別簡易型評価基準表

〔鹿嶋市建設工事総合評価落札方式入札の評価項目及び評価基準表〕

公告案件
(工事名)

同工種工事成績
の条件内容

同種工事施工
の実績・経歴

評価項目		評価内容	配点	評価基準及び取得点数		
企業の 施工能力	同工種工事成績 (鹿嶋市に実績あり の場合)	直前3年度間、同工種における市の工事成績評定点の平均点	3	a	76点以上	3
				b	72点以上76点未満	2
				c	69点以上72点未満	1
				d	69点未満又は実績なし	0
企業の 施工能力	同種工事の 施工実績	直前5年度間、同種工事の 施工実績の有無	1	a	国・県・市町村の公共工事 の実績あり	1
				b	上記以外	0
配置 予定 技術 者能力	同種工事の 施工経歴	直前10年度間、監理(主任) 技術者の同種工事の施工経 験の有無	1	a	国・県・市町村の公共工事 の実績あり	1
				b	上記以外	0
	保有資格	配置予定の監理(主任)技術 者の保有する資格	1	a	1級土木施工管理技士・1級建設 機械施工技士又はこれと同等資 格の国土交通大臣認定者 (※上記は、土木一式工事の場合)	1
地域 貢献 ・法 令順 守	営業拠点の所在地	市内における本店所在の有無	1	a	市内に本店あり	1
				c	上記以外	0
	市災害協定などに基 づく活動	直前3年度間、市災害応急措 置協定に基づく活動の有無	0.5	a	活動実績あり	0.5
				b	活動実績なし	0
	建設業労働災害防 止協会への加入	建設業労働災害防止協会へ の加入の有無	0.5	a	協会加入あり	0.5
				b	協会加入なし	0
	ISO認証取得	ISO9001(品質マネジメント)又 はISO14001(環境マネジメン ト)の認証取得の有無	1	a	両方の認証取得あり	1
				b	いずれかの認証取得あり	0.5
c				認証取得なし	0	
そ の 他	手持ち工事量 (全工種) * 基準日=公告日 の前日の前々月末日 (技術者数は、名簿登録時(全工種) の値とし、10人を上限とする)	市発注の手持ち工事比率= 手持ち件数÷資格保有技術 者数(1・2級)	1	a	0.20未満	1
				b	0.20以上 0.50未満	0.5
				c	0.50以上	0
				※ 指名競争入札の場合		なし
合 計			10			

注1 価格以外の評価点の算定 = 基準点(100点) + 評価取得点(MAX10点)

注2 評価内容中、「直前」とは当該年度の前年度を起点とする。

※ただし、「同工種工事成績」及び基準日の指定がないもの以外の評価項目の対象期間は、上記に当該年度中(公告日の前日までの間)の実績を含むものとする。

注3 各評価は、期限までに所定の様式及び関係資料の提出がない場合は、実績がないものとみなす。

注4 各評価項目は、入札公告及び通知案件の状況により、評価の対象としない場合がある。

一般競争入札参加資格確認申請書兼
 総合評価落札方式 (特別簡易型)
 競争入札 (一般・指名) 共通の評価資料提出書

鹿嶋市長 錦 織 孝 一 様

FAX:	担当
TEL:	

住 所
 商号又は名称
 代表者氏名

印

(下記の区分を○で囲んで下さい。)

一般競争	一般競争入札公告 (総合評価落札) のあった下記の工事にかかる競争入札に参加する資格の確認について、下記のとおり申請します。 なお、成年被後見人、被保佐人及び破産者で復権を得ない者でないこと及び課税対象となる市税を完納していること、記載内容に虚偽がないことを誓約します。
指名競争	指名通知を確認し、総合評価落札方式の価格以外の評価要請に応じます。

記

1 工事名 _____ 工事

整理番号

2 総合評定値通知書の総合評定値等 (P点) _____ 区分 特定 ・ 一般 _____ 点
(平成27・28年度建設工事入札参加者資格申請時)
 工種 _____ :

3 市内本店支店等の有無 _____ 有 ・ 無 (○を囲む)

取得点

<有の場合のみ>

名 称	区 本店 ・ 支店 ・ 営業所 分 他 ()
所在地	
課税の有無	有 ・ 無 法人市民税 直前決算期1年分
	有 ・ 無 固定資産税 前年度分から直近

4 総合評価落札方式の価格以外の評価資料の提出の有無

① 鹿嶋市における同工種の実績 (別記様式2) 有 ・ 無	取得点	取得点
同種工事の施工実績 (別記様式2) 有 ・ 無	取得点	取得点
② 配置予定技術者等の施工経歴 (別記様式3) 有 ・ 無	取得点	取得点
配置予定技術者等の資格 (別記様式3) 有 ・ 無	取得点	
③ 災害協定等による活動実績調書 (別記様式4) 有 ・ 無	取得点	
④ 建設業労働災害防止協会への加入の有無 (写し) 有 ・ 無	取得点	
⑤ IS9001又はIS014001の認証取得の有無 (写し) 有 ・ 無	取得点	
⑥ 鹿嶋市発注の手持ち工事量 (全工種) (申告) (件)	取得点	

※ 2重枠内は、記入しないこと。

鹿嶋市における同工種の実績
及び同種工事の施工実績

入札 工事名	工事
商号又は 名称	

<鹿嶋市における同工種の実績について> 本公告5（3）を参照

鹿嶋市における本公告と同じ工種の工事实績の有無の申告	有 ・ 無
----------------------------	-------

- 鹿嶋市における同工種の実績は、直前3年度間の工事成績の平均点数で評価する。
なお、評価対象の事業名とその工事成績点数は、確認を求めることができる。
※基準日の起点＝公告日の前年度の末日

<同種工事の施工実績表> 本公告5（4）を参照

工事名称			
発注機関名		施工場所	
工期	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日		
受注形態等	1 単体	2 共同企業 体	名称 出資比率（ % ）
契約金額	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円		評価対象となる同種工事 (公告条件を記入すること)
工事内容			
CORINS 登録の有無	有り ・ 無し		資料 1 工事カルテの写し 2 契約書の写し 3 工事内容資料 4 ()
	登録 番号	(工事カルテ(写し)の添付要)	
備考			

- 評価対象となる同種工事の実績は、直前5年度間及び当該年度中公告日の前日までの間とする。
 - 記載する同種工事等の実績は代表する1件とする。
 - 受注形態等は、○囲みで選択し、「共同企業体」はJV名称と出資比率を記入する。
 - 工事内容は、評価対象となる同工種実績を、今回の公告条件と比較できるよう記述すること。
 - 施工実績に関する添付資料は、契約書等（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者、工事内容の確認ができる部分）の写しを添付すること。ただし、CORINS登録の写しで確認できる場合はその写しで可とする。
- * 鹿嶋市における同工種実績と評価対象となる同種工事の自社実績が両方とも無い場合には、本書の提出は要しない。

別記様式3（総合評価入札専用）

配置予定技術者等の施工経歴・資格

入札工事名

商号又は名称

配置予定技術者の 従事役職・氏名		主任技術者氏名	専任の 有無	専任・なし
評価対象となる配置予定 技術者の資格・免許				
評価対象となる 工種条件の内容 (本公告5(4))				
工事 経歴 の 概要	工事名称			
	発注機関名			
	施工場所			
	契約金額	円		
	工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
	受注形態等	単体受注 ・ 共同企業体受注		
	従事条件	監理技術者 ・ 主任技術者		
	工事内容	同種の工事の条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること。		
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) ・ 無		
申請時における他 工事の従事状況等	工事名称			
	発注機関名			
	工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
	従事役職	現場代理人 ・ 主任(監理)技術者 ・ 工事主任等		
	本工事と重複する場合の対応措置			
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) ・ 無		

- 1 評価対象となる主任技術者の経歴は、直前10年度間及び当該年度中公告日の前日までの間とする。
- 2 記載する同種工事等の経歴は代表する1件とする。
- 3 主任技術者の経歴等に関する資料は、契約書等（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者、工事内容の確認ができる部分）の写しを添付すること。ただし、CORINS登録の写しで確認できる場合はその写しで可とする。
- 4 同種工事の経歴と資格となる評価対象がない場合は、本書は要しない。
- 5 申請時における他工事の従事状況は、配置予定者の従事しているすべての工事について記入すること。（CORINS登録又は確認できる資料の写しを提出）

災害協定等による活動実績調書

会社名 : _____

代表者 : _____ 印

公共工事の競争入札（総合評価落札方式）の参加申請に伴い、下記のとおり災害協定等による活動実績がありますので評価願います。

本申請書の申告について、事実と相違ないことを誓約します。あわせて、市の事実確認行為や公開資料となることに異議はありません。

証 明 欄	災害協定等による活動実績証明		平成 年 月 日
	協定名 : _____ 協定年月日 : 平成 年 月 日締結 協定相手方 : _____ 対象者 : 1 構成員 2 協力者 (○囲みで選択)		
上記の申請者は、当該協定に基づく災害活動の実績があることを証明します。 協定締結者 代表者 _____ 印			
評価の 対象期間	平成 年 4 月 1 日 から 平成 年 月 日 まで	・対象期間は、上記の証明日から遡り、3年度間を記載すること。	
災害対応活動の 要請機関	鹿嶋市 (部 課) 又は (協定締結者)		
災害対応の 活動状況	時期 平成 年 月 日から () 日間程度	災害 対応	・時期は可能な限り正確に。
災害対応等 の概要			

・当該協定の活動実績状況は、年度単位で保管管理し総合評価落札方式の競争入札での評価に活用する。2回目以降の申請の際は、証明欄は不要とする。（本調書は要。）

・構成員とは、協定締結者が組織の一員と認める者とする。

・協力者とは、本申請の目的の災害活動（協定条項に準じる）の実績があると、協定締結者が認めた者とする。

・本申請書は、状況により市以外の第三者の審査対象となる可能性があります。

- ・本申請者は、原則、証明以外の事項を記載し、災害等の協定締結者の証明を必要とする。
- ・本申請は、災害協定活動の評価を求める必要が無い場合は、不要とする。
- ・本申請における証明欄の協定締結者の証明は、毎年度ごとに1度の申請で可とする。年度の初めに提出し、年度内の次回以降は、調書に証明欄以下の項目を記載し提出すること。なお、初回申請の本調書は、契約検査室において閲覧することができる。
- ・災害対応等の概要は、すべてを明記する必要はありません。個人情報を除き、概要となる事項と場所程度を表記してください。

別記様式 5

総合評価落札方式に関する評価調書

整理番号	発注課所	工事名 及び 工事場所	予定価格（税抜き）（円）	工事概要	総合評価方式の適用
			C		
			方式：		

【価格以外の評価結果】

入札者	入札価格 A 入札書記載金額 （税抜き）（円）	価格点 a $A \div C \times 100$	価格以外の評価										評価基準点	総合評価点 $b \div a$	備考	
			価格以外の評価項目の評価取得点										配点合計			
			1	3	1	1	1	0.5	0.5	1	1	10	評価点 b $100 + B$			
1	3	1	1	1	0.5	0.5	1	1	10	小計B	100 + B					
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																

最低制限価格

- 価格点
= 入札価格 ÷ 予定価格 × 100
(最低制限価格未満は失格)
- 価格以外の評価点
= 価格以外の基準点 + 評価取得点
- 総合評価点
= 価格以外の評価点 ÷ 価格点

学識経験者の意見聴取

学識経験者氏名	落札者決定基準に対する意見	落札者決定後における意見聴取